

## 一打一打に集中 町民パークゴルフ大会

平成23年度  
町民パークゴルフ大会（洞爺湖町体育振興連絡会・水戸光彦会長 主催）が、8月28日、27チームが参加して洞爺湖温泉のセンターパークゴルフ場で開かれました。



ナイスショットをきめる齊藤さん

試合方法は、1チーム3人で3チームが1組でスタートし、一つのボールをチーム内で順番にプレーしながら、27ホールでスコアを競いあうチーム対抗戦。

最高齢の参加者齊藤栄治さん（89）は、週に3～4回（1回に36ホール）プレーする元気なお年寄り。「男女関係なく楽しめるし、歩くのが健康に良い」とパークゴルフの魅力を語っていました。

9月9日、「ひだまりの詩」などで知られる「ル・クプル」（活動休止）の藤田恵美子さんが、全国で開催している「OMOIYARI 音楽会」を虻田小学校で行い、児童との交流を楽しみました。

9月10日から伊達市で行われた、日本青年会議所全道大会でのイベント「北湘南OMOIYARI 音楽会」出演に合わせて実現しました。

手話を交えた「ひだまりの詩」や童謡などを披露。最後に東日本大震災の避難者に思いを寄せて練習を重ねてきた児童らと「OMOIYARIのうた」を合唱し、大きな拍手が会場から起こりました。



和やかな雰囲気にもまれた「OMOIYARI 音楽会」

## ル・クプル藤田さん 歌で虻小児童と交流

9月12日、健康づくりの里事業講演会「アメリカにおける自然療法」（洞爺湖町 主催）が、観光情報センターで開かれ、約40人の住民や観光関係者などが参加し、洞爺湖の資源をいかした新しい観光の行方について考えました。

講師は、アメリカパステリア大学で自然療法を研修しているリリー・ジェイ・ホー・チャンさん。本来人間が備わっている自然治癒力について詳しく説明し、その治癒力をアップする方法として、温泉での入浴やハーブの効果などについてふれました。「洞爺湖は、自然環境や温泉、スポーツなど自然療法には理想的な地域だ」と絶賛。改めて、洞爺湖の魅力について認識を深めました。



新たな洞爺湖観光を提起した「自然療法」講演会

## 洞爺湖観光の魅力新たに探る 健康づくり講演会

## 香川県の話し言葉研究会来町 讃岐弁の調査で子孫に聞き取り

全国の香川県民の入植地を訪ね、同県の言葉や風習がどのくらい残っているかを調査している香川県話し言葉研究会（島田治主幹）の4人のメンバーが、9月13日当町を訪れ、2泊3日の日程で、洞爺地区の町民7人から聞き取り調査を行いました。



聞き取り調査をする研究会の皆さん

同会は、8年前から県外での調査を開始。一昨年は旭川、昨年は帯広中心に調べました。調査は、短い文章を読み上げてもらい、アクセントを確認したり、日常生活での語彙や風習などについて質問。島田主幹は「正月の雑煮にあんころ餅をいれる風習やほっこげな（ばかみたい）などの言葉も残っていた」と調査の成果を話しました。

まちのわだい